

会 議 議 事 録

1 会議名	令和6年度第3回長岡市公立大学法人評価委員会
2 開催日時	令和6年8月6日(火)午前10時30分から午前11時30分まで
3 開催場所	米百俵プレイス ミライエ長岡5階 スタジオB
4 出席者名	<p>(委員) 三上委員長 水澤委員 草間委員 並木委員 槇委員</p> <p>(説明のために出席した関係者)</p> <p>公立大学法人長岡造形大学 佐々木理事長 公立大学法人長岡造形大学 平山学長 公立大学法人長岡造形大学 安達副理事長 公立大学法人長岡造形大学 久島事務局長 公立大学法人長岡造形大学 佐藤財務課長 公立大学法人長岡造形大学 二澤財務係長</p> <p>(事務局) 長岡市地方創生推進部 長谷川部長 長岡市地方創生推進部 斉藤副参事 長岡市政策企画課 五十嵐課長 長岡市政策企画課 早川課長補佐 長岡市政策企画課 相川係長 長岡市政策企画課 浅野主査</p>
5 欠席者名	—
6 議事	<p>(1) 令和5年度業務実績に関する評価について</p> <p>(2) 第2期中期目標期間における業務実績(見込)に関する評価について</p>
7 審議結果の概要	議事は評価書案のとおり承認された。

8 審議の内容	
事務局・政策企画課課長補佐	<p>本日は、お忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>これより令和6年度第3回長岡市公立大学法人評価委員会を開催いたします。はじめに長谷川地方創生推進部長より御挨拶申し上げます。</p>
事務局・地方創生推進部長	(部長挨拶)
事務局・政策企画課課長補佐	<p>本日の評価委員会は、委員5名全員が出席されておりますので、長岡市公立大学法人評価委員会条例第5条第3項の規定を満たしていることをご報告いたします。なお、このたびの評価委員会は、長岡造形大学の佐々木理事長、平山学長、安達副理事長、久島事務局長ほか大学事務局職員から御出席いただいております。</p> <p>議事に入る前に、前回の第2回評価委員会の委員間の意見交換内で並木委員から「地域協創演習等での学生と地域との関わり具体例をお聞きしたい」旨の御発言がありましたので、大学側から御説明をお願いします。</p>
財務課長	(説明)
事務局・政策企画課課長補佐	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、議事の進行を三上委員長にお願いしたいと思います。三上委員長、よろしく願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、進行を務めさせていただきます。</p> <p>議事を進める前に、今回の評価委員会の議事録署名人を決めたいと思います。並木委員と榎委員のお二人にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>(並木委員、榎委員 了解)</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。今回の議事は2件です。1件目は令和5年度業務実績に関する評価書についてです。</p> <p>2件目は第2期中期目標期間における業務実績見込に関する評価書についてです。</p>

<p>事務局・政策企画 課長</p>	<p>初めに、令和5年度の評価書案につきまして事務局から御説明お願いいたします。</p> <p>(資料1-1～資料1-2、資料3により説明)</p>
<p>財務課長</p>	<p>事前に草間委員からいただいた質問について、御説明申し上げます。</p> <p>質問の1つ目、大学院の入学者数について、目標を達成できなかった理由の一つに、本学の学部からの進学者が減少したことがあります。これは、学部生の就職希望率が上がっていることが一つ、分析結果としてあります。これが一過性のものなのか、推移を見ていく必要がございますけれども、今後につきましては、県内の他大学での説明会を行って大学院の周知をすとか、あるいはリクルートなどの受験媒体の活用など、大学院の周知を強化していくということにしております。</p> <p>2つ目、女性教員の増加に関してでございます。令和5年度に女性限定の教員募集を行い、令和6年度に2名の女性教員を採用しました。さらに比率の向上を図るために、令和7年度採用に向けては、6分野6名のうち4名を女性限定としております。予定どおり採用できれば、総人数に対する割合も大きく変わってくることも考えられます。</p> <p>今後、学生からの反応なども出てくるのではないかとこのように感じております。</p>
<p>事務局長</p>	<p>事務局から令和6年度採用教員の説明をいたしました。採用後に平山学長と私の方で新採用教員の個人面談を行いました。全体として3名採用したうち2名が女性教員ですが、この2人の教員の研究室への女子学生の出入り、ゼミ生としての希望者が多数出てきております。草間委員の方からお話がありました女性教員の増加に関して、やはり学生の動きも出ているというのが実態でございます。</p>
<p>学長</p>	<p>1点目の大学院の件ですが、他の大学院に進学する学生がかなりおります。それを含めると、昨年並みには届きませんが、10名に近い数の学生が大学院に進学しております。</p> <p>2点目についても、女性教員の増加を図ったということで、分野のマッチングということもあるかと思いますが、女性教員の方にゼミ生が増えたという事実がありますので、良いことと私も見ております。</p>
<p>委員</p>	<p>大学院設置の時期、皆、期待しながら会議が進められていました。</p>

<p>委員長</p>	<p>その頃を振り返ると、1名でも2名でも大学院に入られた方がいること、併せて、大学院への入学希望者数がすごく増えていることに対して、とても嬉しく思っております。希望者が多いのに、進学者数がちょっと少ないのかなと思い、質問をさせていただきました。長岡造形大学大学院に進んでいただけるような力添えを、私達からもできれば嬉しいと思います。同時に、女子学生がすごく増えてきたので、それに対していろいろとメンタル面でも力添えできればと思います。女性教員が増えるということで、何かしら変化が出るのではないかと思いますので、ご質問させていただいたんですが、まだ着任されたばかりですので、今後も今お話されたような内容をお聞かせください。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、評価委員会として、この評価書で決定したいと思います。委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>(委員一同 異議なし)</p> <p>では、事務局は、評価書を市長に報告してください。</p> <p>続いて、第2期中期目標期間における業務実績見込評価書案につきまして、事務局からご説明お願いいたします。</p>
<p>事務局・政策企画課長</p>	<p>(資料2-1～資料2-2、資料4により説明)</p>
<p>学長</p>	<p>授業評価アンケートについて、5段階評価で4以上であってほしいところですが、数字だけでは見えてこないところもありますので、自由記載項目もあります。各教授と担当学科長、教務部長、学部長は全て目を通しており、問題点があれば必要に応じて先生に聞き取りをしております。</p> <p>特にマイナスのことを言われている場合には、学生への対応も含めて改善をお願いしておりますので、次の年度はさらにいい授業になり、満足度も高くなっていると考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>指標単位評価で、1つだけ年度計画を十分に実施せずという評価がありますが、これはどういう内容の事業だったのでしょうか。</p>

財務課長	<p>大学院の入学者数です。定員を満たすと年度計画を概ね実施したという評価になります。</p>
委員長	<p>承知しました。</p> <p>ほかに委員の皆さんから御質問などありましたら、お願いします。</p>
委員	<p>先生方への評価について、評価の仕方が難しいという話もありますが、今のお話ですと、学生からの言葉にきちんと対応して、その結果、先生方も様々な努力されて、改善されていると。やはり評価をすることによって、先生方のモチベーションや学生の授業の参加率、授業の進め方が変わってきている、授業全体もレベルアップしているとは思ったのですが、そのように理解してよろしいでしょうか。</p>
学長	<p>授業の単位数が 100 から 150 程度あり、大体が 5 段階評価で平均は 4.13 くらいになります。3 点台になると、改善が必要なのではないかという数値になるのですが、3 点台を見つけるのは難しくなってきました。500 項目のうち、1 つくらい 2 点台もありますが、そのときはアンケートの結果を読み込み、どういう授業をしているのかということを見た上で、先生方がそれに応えているか確認します。応えていない場合は学生に対して説明するよう指示しています。そうすると、次年度は評価がかなり良くなる傾向があります。</p> <p>最近、4 点台はアンケート対象外とする意見もありますが、実施することに決めています。実施することで、高い評価が維持されていることが確認できていると考えております。</p>
委員	<p>先ほど、女性教員のゼミなどに学生が多く参加するとありましたので、逆に言えば、男性の先生方もそれを参考にいただければ、また変わってくるのかなと思いました。</p>
委員	<p>授業評価アンケートは他の大学でも実施されているのですか。</p>
学長	<p>公立大学協会等でも、大学は授業の評価を実施することになっています。評価しないと見えてこない部分があるためです。本学でも、抽出した授業だけ評価すれば良いのではないかという話もありましたが、全部の授業を対象に実施しています。</p>
委員	<p>全大学で実施されているということで大変だとは思いますが、良い</p>

<p>委員長</p>	<p>ことだと思えます。当社も、全社員を対象に内部評価をして、経営陣に対して評価結果の説明会を行います。</p> <p>社内でも、評価が低い場合はそれなりの原因があるものですから、原因を改善してコミュニケーションが良くなっていくと、さらに良い結果を生みます。ぜひ頑張っていたいただきたいと思います。</p> <p>それでは委員の皆さんからの御意見、御質問が出尽くしたと思いますので、評価書を決定いたしたいと思えます。事務局は評価書を市長に報告してください。</p> <p>最後に大学を代表して、佐々木理事長、平山学長のお二人から一言ずついただければと思えます。</p>
<p>理事長、学長</p>	<p>(佐々木理事長、平山学長 挨拶)</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、私の進行はここまでとさせていただきます。御協力いただき、ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
<p>事務局・政策企画課長補佐</p>	<p>三上委員長ありがとうございました。</p> <p>次第の2その他としまして、事務局からご連絡いたします。</p> <p>まず、本日、御審議いただいた評価書につきましては、今日の結果を市長へ報告するとともに、9月議会に報告いたします。</p> <p>次回以降になりますけれども、2月以降に第4回の評価委員会を開催させていただきます。内容としては、第3期中期目標骨子案への意見聴取を行わせていただきます。</p> <p>お忙しいなか評価委員会に出席いただきありがとうございました。</p> <p>また大学の業務運営に関して多くの意見をいただきまして、本日、評価書を決定することができました。重ねて御礼申し上げます。</p> <p>それでは、これで「令和6年度第3回長岡市公立大学法人評価委員会」を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>

上記議事録は、その記載内容が事実と相違ないことを確認し、ここに署名する。

委 員

委 員

9 会議資料

- 次第・出席者名簿
- 資料1-1 令和5年度業務実績に関する評価書（案）
- 資料1-2 令和5年度業務実績に関する評価書（事務局案）に対する意見
- 資料2-1 第2期中期目標期間における業務実績（見込）に関する評価書（案）
- 資料2-2 第2期中期目標期間における業務実績（見込）に関する評価書（事務局案）に対する意見
- 資料3 意見書（令和5年度業務実績に関する評価書案に対する大学の意見申出書）
- 資料4 意見書（第2期中期目標期間における業務実績（見込）に関する評価書案に対する大学の意見申出書）
- その他 令和5年度 地域協創演習・ボランティア実習・地域特別プロジェクト演習／特別プロジェクト研究演習実施プロジェクト報告書